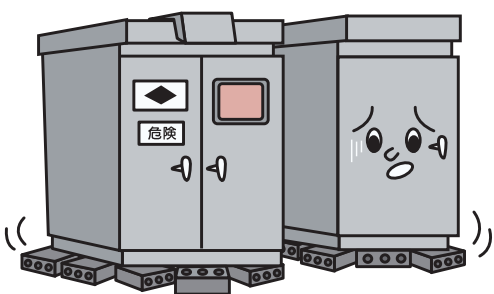


●災害に備え電気設備の安全対策をしましょう。

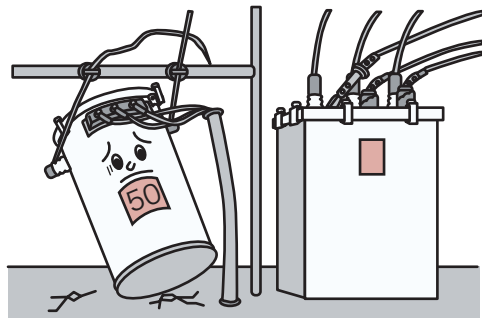
大きな地震が発生した場合、キュービクルや高圧機器が固定されていないと転倒や破損する恐れがあります。固定されていない高圧機器はしっかりと固定しましょう。転倒防止には変圧器などの固定部分に取り付ける揺れを吸収する防振装置も効果的です。

また、地震が発生しても電力会社の設備などに異常がなければ電気は送りつづけられますので、構内の電線が切れていても触らず(財)東北電気保安協会に連絡してください。

災害時に避難する時は、火災や感電などの二次災害を防ぐためにも、分電盤のブレーカーをオフにして避難するようにしましょう。



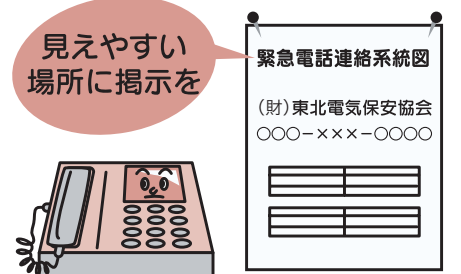
●キュービクルは堅固な基礎に固定しましょう。



●固定していない変圧器等は固定しましょう。



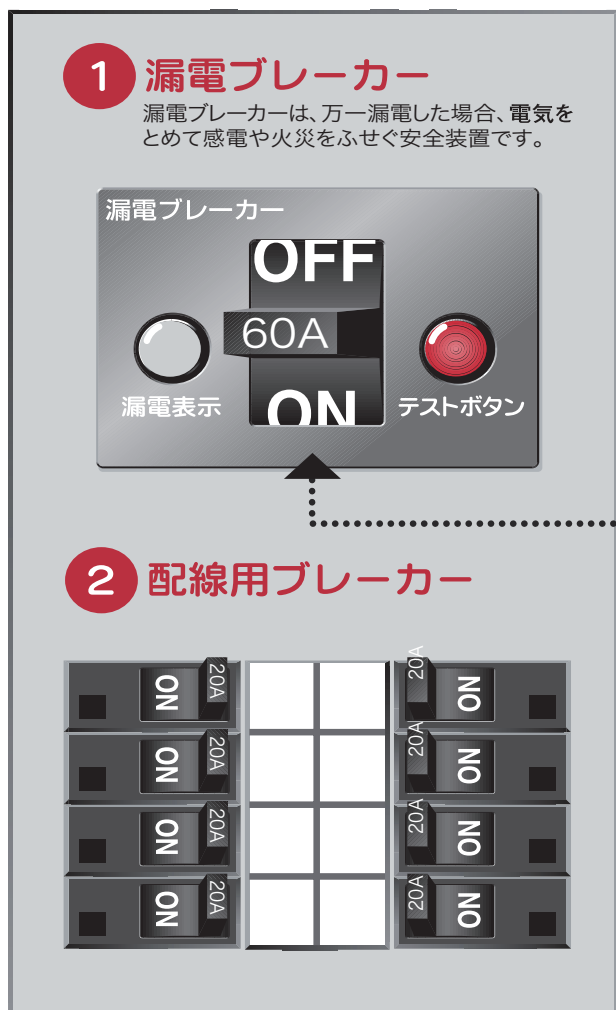
●避難する時はブレーカーをオフにしましょう。



●「緊急電話連絡系統図」は見えやすい場所に掲示しましょう。

●漏電ブレーカーが動作したら…。

漏電ブレーカーが動作したとき、原因を確かめずにONにすることは危険です。ONにする前に(財)東北電気保安協会へ必ず連絡してください。状況をお伺いしながら漏電ブレーカーの操作手順をご説明いたします。



※図の漏電ブレーカーおよび配線用ブレーカーは一例です。

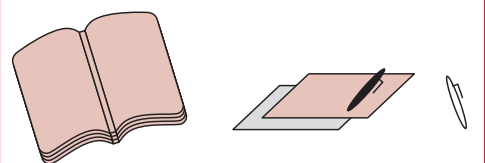
復旧の手順

- 1
 - 2の配線用ブレーカーを全部OFFにする。
 - 2
 - 1の漏電ブレーカーのつまみを下までさげる。………a
その後、上まであげてONにする。………b
 - 3
 - 2の配線用ブレーカーをひとつずつONにする。
- 再び漏電ブレーカーが切れたら、その回路に漏電の原因がありますので、漏電ブレーカーが切れた配線用ブレーカーをOFFにしてください。
1~3の手順を再び行ってください。

電気安全セミナーを実施しましょう。

「電気安全セミナー」は、従業員の皆さんが電気の取り扱いの理解を深めることによって、職場の電気事故を防止するための職場内講習会です。

私どもでは、講師派遣や資料・教材の準備など電気安全セミナーのお手伝いを無料で行っております。担当検査員までご相談をお願いします。



知るは安全への第一歩

(見やすい場所に貼ってください)